

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町美術展(公募展)事業				開始年度	20年度	
基本目標	芸術文化の振興				終了年度	20年度	
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼	評価者	田中 隆吉
20年度決算	0	千円	21年度予算	0	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	1,437 千円		21年度人件費	1,457 千円		事業従事者数	0.20 人 0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域の芸術文化の発信地として、文化活動の場を積極的に提供していく。
事業の内容	今回で第6回目となる公募展。西都・児湯管内の美術愛好者に作品発表の機会を提供するため、無審査制で絵画・写真・書の各部門で計126点を展示。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親んでもらう。
	2 出品数	出品数の増加で、より多くの人々の美術館利用を促す。
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼
	3 募集依頼(何ヶ月前)	制作期間等を考慮した募集時期の設定

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	観覧者数	目標値	1,000	1,000	1,000
		実績値	870	975	
		達成率	87.0%	97.5%	
	出品数	目標値	120	120	120
		実績値	105	126	
		達成率	87.5%	105.0%	
	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	広報活動数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	募集依頼(何ヶ月前)	目標値	4	4	4
		実績値	2	3	
		達成率	50.0%	75.0%	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	地域に根ざした公募展で、作品発表の場を提供。また、美術愛好家の作品を同時に展示することで良い刺激や励みになると思われる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	美術愛好者の制作意欲は素晴らしく、見応えのある作品が多数ある。出品者が増えるにつれ、波及して観覧者も増加傾向にある。募集時期を前年より若干早め、他の公募展の入選作品を出品可にしたため出品数の増加に繋がった。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	申込用紙や作品受付時の作業を工夫することで、一層の事務量軽減が可能。応募依頼先の新規開拓で応募者の増加が見込まれる。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	審査制を採り、賞を設けるのであれば、町内企業等との連携や実行委員会を組織しての開催・運営が良いと思われる。

事務事業名	高鍋町美術展(公募展)事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	---------------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	底辺の拡がりや作品の質の向上は図られている。今後、町の経済浮揚も含め、集客性の高い企画が求められる。審査制や賞の問題等、実行委員会の組織作りも必要になる。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				○
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎審査員等の問題はあると思うが、賞を設けることは以前からの検討課題であり、方向性を固めた上で協賛企業を募り賞品を得るなどの工夫で、審査制への移行を検討してよいのではないか。
	コスト	現状維持	